

獅子島小、幣串小が準特選

本町の獅子島にある獅子島小学校（小磯俊彦校長）と幣串小学校（坂元英透校長）が、2010年度全日本学校関係緑化コンクールで準特選に選ばれ、和歌山県で開催された全国植樹祭2011で表彰されました。両校は、自然豊かな獅子島の中で、児童らが心身ともに花々や樹木と一緒に大切に育ち、獅子島の特性を最大限に生かした結果となりました。

獅子島小学校は17の応募があった学校環境緑化の部で、幣串小学校は18の応募があった学校林等活動の部で、同じ町内の2校が同時に受賞する快挙で、関係者は大喜びでした。

獅子島小学校は長年児童がそれぞれ自分の花

に責任を持って育てる「1人1プランター運動」や獅子島の特産品のアオサ作りで生命や自然の尊さを学び、お年寄りに自分らが育てた花の苗などをプレゼントしています。

幣串小学校は、約20年前から同校近くにある無人島「ひょうたん島」を学校林として活用し、自分が気に入った木を「マイツリー」として6年間観察し、育てていることが全国でも珍しい取り組みだということで評価されたものです。両校長は「長年やってきた結果で大変うれしい。今後も継続していきたい」と抱負を語りました。



↑受賞の報告に両校長が町長室を訪問



←「ひょうたん島」でマイツリーを観察



全児童での
花づくり→



もうすぐ“初盆” 新生活運動展開中 集落ぐるみで取り組もう

初盆では、故人が仏になって初めて里帰りするということで、近親者は盆ちょうちんを贈り、初盆を迎える家では身内や親しいかたを招いて僧侶にお経をあげてもらい供養します。

新生活運動推進協議会では、初盆でのソーメンなどの食事接待や、お砂糖などのお返しはやめようということになっています。お返しや食事接待がなければ、お参りも千円以内でできるのではないかとのことです。供養の気持ちこそが大切ではないでしょうか。「お参りは千円以内程度とし、お返しは廃止」「接待はお茶だけ」と決定しています。

このような決定は、自分ひとりで実行できるものではありません。町内のいくつかの集落では、初盆を迎えるかたがたに集まってもらい、趣旨が徹底するように取り組んでいます。皆さんも地域ぐるみで取り組んでみましょう。

なお、新生活運動は親戚などの付き合いを規制するものではありません。

◎問い合わせ先

新生活運動推進協議会事務局
(教育委員会社会教育課内)

☎(86) 11111

内線2231